

政務調査 活動報告

会派では今年度も、県内外で政務調査を実施しました。

7月29日～31日に島根、兵庫両県の政務調査を行い、初日は島根県のMランド（益田ドライビングスクール）を訪問、地方都市の自動車教習所が全国から教習生を集めてくるノウハウを勉強してきました。2日目は、美郷町産業振興課、雲南農協を訪問し、鳥獣害被害対策で捕獲した野獣の有効活用と中山間地域における高齢者を活用した産直事業への取り組み研修し、3日目は東海パネ工業（株）、商工中金尼崎支店を訪問し、パネのニッチ市場でトップメーカーに躍進した経営戦略や中小企業への金融支援対策について調査・研修してきました。

県内では8月28日にジェトロ山梨貿易センターを訪問し、ジェトロの事業概要、山梨貿易センターの取り組み、本県の事業展開の可能性について、10月3日には、県畜産試験場で、新銘柄豚「フジザクラDB」の開発と生産及び「甲州富士桜ポーク」生産と流通促進の取り組みについて調査・研修しました。これらの調査・研修の結果を県政に生かすべく、今後も引き続き現地調査を重ねていく予定です。



Mランド
小河二郎代表取締役会長と面談



Mランド
自動車教習所
増田校



商工中金
尼崎支店



商工中金尼崎支店
千田支店長から説明を聞く

美郷町
クラフト
作業場



美郷町産業振興課の安田さんと
吾郷地域婦人会代表 安田兼子さんと
会員の皆さんから話を聞く

雲南農業
協同組合本店



雲南農協 営農部
須山次長から取り組みに
ついて説明を受ける

東海パネ工業
株式会社
伊丹工場



東海パネ工業（株） 渡辺良機社長と面談

平成25年8月28日

山梨県
（ジェトロ山梨貿易情報センター）

ジェトロ山梨
貿易情報
センター



県畜産
試験場



ジェトロ山梨貿易センター
高野光一所長の案内で活動状況を聞く



県畜産試験場
望月洋場長の案内で施設を視察

平成25年10月31日

中央市（県畜産試験場）

山梨県議会会派 自由民主党・創明会

県議会レポート Vol.3

2014年新年号
【発行元】自由民主党・創明会

議会の総力で 豊かな県土づくりへ

2014年。新しい年となりました。

私たち自由民主党・創明会一同は、「県民生活のより良い発展」を最大の目標に県議会での活動を展開するとともに、本年も県政の諸課題の克服に変わらぬ姿勢で取り組んで行く事を確認しております。

安倍新政権は昨年、「アベノミクス」の進展により、低迷していた日本経済にもようやく復活の兆しが伺われるようになってきました。

半面、本県も含めた地方の復活には、もう一歩の感が否めない状況でもあります。そうした中にも、本県では昨年、「富士山世界文化遺産決定」「リニア中央新幹線計画の具体化」「中部横断自動車道の工事進捗」など将来へ向けての明るい材料も提示されました。さらに2020年東京オリンピックの開催決定は首都圏

の一角に位置する本県にとってまたとない地域活性化へのチャンスといえます。これらの好機を生かすため、県政に対して絶えず提言と個々の政策へのチェックを継続している同志一同、その役割に大きな責任を感じております。

私たちの信条は「県政には是々非々、県民本位の議会活動の推進」であります。議会の場での開かれた議論を通して、県政への公正明快なチェックと提言を使命としております。

新しい年を迎えるにあたって、同志一人ひとりの本年の議会活動への抱負をお届けするとともに、県民の皆様からのご意見をお待ちしております。

自由民主党・創明会代表
保延 実



（後列左から）久保田 松幸、仁ノ平 尚子、早川 浩、山下 政樹、大柴 邦彦、永井 学
（前列左から）渡辺 英機、清水 武則、前島 茂松、保延 実、皆川 巖、鈴木 幹夫、斎藤 公夫

お問い合わせは 【発行元】山梨県議会 自由民主党・創明会 へ 甲府市丸の内一丁目6-1 電話 055-223-1807

山梨の明日を創る提言する議会を目指して

議論の場から生まれる諸課題の進展



●笛吹市 前島 茂松

Shigematsu Maejima

年頭の誓い

人口の減少は日本全体の課題となっていますが、とりわけ本県は特に減少率が高く、山梨という地域圏が将来に向かって暗い影を落としています。

政治行政の成果、結果の究極評価のバロメーターは人口動態にあると言っても過言ではありません。

今、県政は「暮らしやすさ日本一」のキャッチフレーズを掲げていますが、残念ながら実感が湧く現状とは言い難く、依然若者の県外流出や企業、事業所の閉鎖、撤退等が続き心配です。このままだと何もかも縮小県山梨になりそうな感じがします。こうした動向を直視し、定住人口、人口対策に成果があげられるよう政策を提言して参りたいと考えています。

年頭にあたり、行政執行のあり方をより検証し、県民の負託に応えることを誓います。



私の一筆

●韭崎市 清水 武則

Takenori Shimizu

政治に皆さんの心を

今、国も地方も厳しい財政事情の中、「地域医療の充実」「産業振興や雇用の確保」「環境保全」「暮らしの安全・安心の確保」など、政治が取り組むべき課題が山積しています。これらの課題解決とともに、多様化する県民の皆さんのニーズに応えるために、我々政治家に必要なことは「古き体制」を改める勇気と実行力であり、時代を切り拓く新たなチャレンジ精神であります。

「皆さんの心を政治に反映させる」。これが私の原点であり、皆さんの声を県政に届け、共に行動し、「ふるさと山梨の発展」のため、長年培った経験を糧に一生懸命邁進して参ります。一層のご支援をお願いいたします。



私の一筆

●甲府市 皆川 巖

Iwao Minagawa

いまこそ、働くとき

議会活動には「チェック機能」を発揮して行政の姿勢をただし、併せて自らの考えているアイデアを積極的に「提案・質問」して、「暮らしやすさ日本一・山梨」を二元代表の議会の立場から実現させる努力が必要です。政治信条に基づいた所属政党の活動を通じて、国政との連携を図り、地方政治の立場からより良い日本を築き上げる努力も必要です。

日本経済は再生に向けて動き始めています。東京オリンピックの決定、富士山世界文化遺産登録、リニア中央新幹線のルート決定など、将来の山梨の発展に向け、様々な施策に取り組む年です。私の政治テーマである通過型から宿泊型観光県への切り札となる甲府城再建にライフワークとして取り組んで参ります。



私の一筆

●南都留郡 渡辺 英機

Hideki Watanabe

本年を飛躍の年に

輝かしい新春を迎え県民の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年は、2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて様々な取り組みが本格的にスタートします。

私は、自由民主党・創明会の一員として、「明るく暮らしやすい山梨」を築くため、本年を千載一瞬のチャンスとして捉え、オリンピックの開催に向け、本県へ事前合宿地の誘致、併せて観光振興に全力で取り組みます。

モンゴルには「勇気があれば物事は成就する。努力すれば幸福がやって来る」との格言があります。県民の皆様におかれましては、本年も夢や希望が叶えられる年でありまよう願っております。



私の一筆

●甲府市 仁ノ平 尚子

Hisako Ninohira

「天馬空翔」の心意気で

人口減少社会に突入してから8年。本県でも、一日に約20人のペースで減り続けています。この現実を目を背けることなく、しっかりと向き合い、備えなければいけません。

人が減って行くマイナス面をプラスに変え、これからも活気ある山梨であるために、県民が幸せであるために、社会は、行政は、そして私たち県民はどうあらねばならないかを考え、努力を続けたいと思います。

「天馬空翔」。天に住むという馬が自由自在に大空を翔(かけ)る。自由奔放に、という諺です。縮小していく社会だからこそ、固定概念にとらわれない大胆かつ自由な発想・心・行動が必要ではないでしょうか。干支の「馬」にちなんでの願いです。



私の一筆

●笛吹市 山下 政樹

Masaki Yamashita

今日一日を全力で

人生には目標があり、ゴールもあります。昨日何かが終わったからと言って、突然、次の日に今までと違う新しい世界が開けることは人生にはそうないのではないのでしょうか。

しかし何も変わらないようにみえても、自分自身はいつも新しくなっているのではないのでしょうか。人生において一日だって同じ日はないのです。

今日一日歩いた草鞋を脱ぎ、また新しい草鞋を履く。今日の自分はもう今日で終わり、また明日再生された新しい日が必ず迎えてくれます。

今年は「一日を一生」と考え、一日を中心に目の前の課題に全力で取り組んで行こうと考えております。



私の一筆

●甲州市 鈴木 幹夫

Mikio Suzuki

目前の好機を生かすため、全力投入

私たちの暮す山梨にとって、本年は正念場の年になると感じています。

低迷傾向が続いている全国各地方の状況にあって、本県では昨年、富士山の世界文化遺産決定をはじめ、リニア中央新幹線の駅と概要決定、さらには2020年東京オリンピック開催決定など、本県の将来構想と直接関係する明るく重要な施策が相次いで具体的な計画として明示されました。ただし、これらの好材料を県民、さらには県内各地域の向上に結び付けていくためには、それ相応の取り組みと努力が不可欠です。

いくら好材料がそろったといっても、それなりの対応がなければ、「絵に描いた餅」で終わってしまいます。

併せて、峡東地域の発展と安定を含め、議会活動を通して全力で対応していく覚悟です。



私の一筆

●南アルプス市 斎藤 公夫

Kimio Saito

人口減少社会を考える

山梨の人口は、2040年には66万人に減少すると推定されています。人口減少社会に入り少子高齢化に伴う自然減はやむを得ないとしても、企業の撤退等に伴う社会減への対応を講じなければ、将来の山梨の産業や経済の発展に大きな影響を及ぼすことは必至です。とくに昨年来から県内大手企業数社が県内から撤退され企業の空洞化が進んでいます。

今、働く場の確保を優先し定住人口の確保が迫られています。そのため、首都圏から、企業の本社機能や研究施設、また、今後成長可能の高い新産業を本県に誘致することが喫緊の課題です。そのため、入居企業に対する優遇施策や受入れ環境を整え優遇メリット情報の発信が必要です。



私の一筆

●南アルプス市 久保田 松幸

Matsuyuki Kubota

将来へ向けての数々の好材料をバックアップ

昨年、山梨県では富士山のユネスコ世界文化遺産登録をはじめ、リニア中央新幹線の路線発表、「富士の国やまなし国文祭」の通年開催など、種々の明るい出来事がありました。県の経済、産業、文化発展へ、未来へ向かっての明るい材料が提供されました。

昨年はNHKの朝ドラ「あまちゃん」が震災被災地東北への力強いバックアップになりましたが、本年は本県出身の村岡花子の半生を描いた「花子とアン」が全国へ向けて放映されます。山梨の魅力を全国に発信し、観光事業の促進となるはずです。県外からの多くの方々をお迎えする契機になるよう努力して参ります。



私の一筆

●北杜市 大柴 邦彦

Kunihiko Ooshiba

夢から現実へ～実りある発展のために

2013年は、政権交代後多くの課題難題が山積し、その解決に翻弄された年でもありました。東日本大震災、福島原発事故への対応、TPP、外交問題、さらには「アベノミクス戦略」による国内経済再生への行方等等、日本の将来を決めかねない事象ばかりでした。

景気回復は未だ不透明な状況ですが、県内におきましては、富士山の世界文化遺産登録やリニア中央新幹線の事業開始など明るい展望が提供されました。これらの計画を好機と捉え「山梨県の立ち位置(現況)」を正しく把握し、「未来ある山梨づくり」に積極的に取り組んで参ります。

「自由民主党・創明会」は、常に県民サイドの視点で各施策に対峙し、真剣に論議を展開し、2014年も明るい県土建設のために最善を尽くしてまいります。



私の一筆

●富士吉田市 早川 浩

Hiroshi Hayakawa

「MOVE」～行動・動く・感動～

私たちの大きな目標であった「富士山の世界文化遺産登録」が達成されました。さらにはリニア実験線の完成、2020東京オリンピックの決定。今こそ山梨県を盛り上げる絶好のチャンスです。サッカーで見事J1残留を決めたヴァンフォーレ甲府のチームスローガンに「ムーブ」という言葉があります。これは「行動する」「動く」「感動する」という意味です。

まさに横内知事が掲げるスローガン「暮らしやすさ日本一」に向けて「県民と行政が一丸となって」行動することが山梨全体を動かし、人々に感動を与えるのではないのでしょうか。

私も地域の代表として県民の皆様や知事、県職員の方々と一緒に汗をかき行動して参ります。「ムーブ山梨」です。



私の一筆

●甲府市 永井 学

Manabu Nagai

息子を手本に!

「研修などで3日も家を空けると、それまで出来なかったような事が出来るようになっていく」。子どもの成長は本当に早いものです。早生まれの早産で生まれてきた息子も、この3月で2歳の誕生日を迎えます。

私も県議会議員を拝命して、この4月で3歳の誕生日。生まれてからの息子同様、様々な経験をさせていただきました。ヨチヨチ歩きから、少しだけ立ち上がれるようになり、自分の足で歩き始めたところでしょうか。

昨年は全国の若手都道府県議会議員との交流、参議院選挙など、本当に沢山の貴重な経験をさせて頂きました。本年は息子を手本に、昨年以上に食欲に様々なことを吸収しながら、一歩ずつ進んで参りたいと思います。



私の一筆

●甲斐市 保延 実

Minoru Honobe

「明るく豊かな県土づくり」の実現を

新春を迎え、皆様方には輝かしい新年を迎えられたことと思います。

私事ではありますが、昨年暮れに議員在職10年の全国議員表彰を頂きました。これも皆様方のご支援の賜物だと感謝しております。

「初心忘るべからず」「人のために働く」「約束を守る」「一隅を照らす」「事成すまで継続と改革を目指す」。以上は私の変わらぬ信念です。この五大政治理念に基づき、本年も積極的に行動して参ります。昨年は「富士山世界文化遺産決定」「国民文化祭の開催」「2020東京オリンピック」「リニア中央新幹線の概要決定」など、本県にとって明るい未来を予感させる出来事が続きました。これらを軸に、「明るく豊かな県土づくり」の実現のため、全力で取り組んで参ります。



私の一筆